

日本初 100%植物由来 Green Planet®を使用した歯ブラシ導入  
および無償提供プラスチックペットボトル全店舗廃止へ  
～更なるプラスチック廃棄量削減を目指して～

株式会社東急ホテルズ(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：村井 淳、以下「東急ホテルズ」)は、2021年4月よりプラスチック廃棄量削減に取り組んでまいりましたが、2022年度、更なる削減を目指し、新たな施策を実施することを発表いたします。

東急ホテルズでは2019年に「サステナブル方針」(※1)を制定し、“地球にやさしいホテル・まちにやさしいホテル・ひとにやさしいホテル”を掲げ、ホテル事業を通じて「持続可能な社会」の実現を目指し、さまざまな取り組みを行っております。そして2022年4月より、以下の4つの施策を新たに実施いたします。

1. カネカ生分解性バイオポリマー Green Planet®を使用した歯ブラシを日本初導入
2. 客室アメニティをプラスチックからエコ素材へ変更および廃止
3. 客室無償提供プラスチックペットボトルを全店舗廃止
4. テイクアウト商品カトラリーをエコ素材へ変更

<1. カネカ生分解性バイオポリマー Green Planet®を使用した歯ブラシを日本初導入>

2022年4月22日より株式会社カネカ(本社：東京都港区、代表取締役社長：田中 稔、以下「カネカ」)のカネカ生分解性バイオポリマー Green Planet®(以下「Green Planet」)を柄の部分に使用した歯ブラシを、運営するホテル(※2)に導入いたします。Green Planetは海水中でも生分解する海洋汚染低減に貢献する素材(※3)であり、カネカが掲げる「カネカは世界を健康にする。KANEKA thinks “Wellness First”」という考えは“地球にやさしいホテル・まちにやさしいホテル・ひとにやさしいホテル”を謳う当社にとって親和性があり、本製品の採用となりました。Green Planetを使用した歯ブラシの導入は国内初となります。また同時に包材も従来のプラスチック製から紙製に変更いたします。



Green Planet®を使用した歯ブラシ

地球環境について考えるアースデイ(地球の日)の4月22日より、「SDGs 未来都市」に選定されている横浜市にある横浜ベイホテル東急、横浜東急REIホテルから逐次導入を開始いたします。

<2. 客室アメニティをプラスチックからエコ素材へ変更、及び廃止>

2021年度、先行して東急REIホテル19店舗にてワンウェイプラスチックアメニティをエコ素材に変更および廃止、また提供方法を客室内常設からフロント付近の「アメニティコーナー」でのお客様による選択制へと変更し、プラスチック廃棄量削減を実現しました。

2022年度は更なるプラスチック廃棄量削減を目指し、東急ホテル、エクセルホテル東急にてカミソリ、ヘアブラシをエコ素材に変更、包材を紙製へ変更し、シャワーキャップを廃止します。またボディタオル

もワンウェイからリネンへと変更いたします(一部店舗を除く)。

- ・ 2021年度：東急 REI ホテル プラスチック削減率約 40% 年間プラスチック廃棄削減量約 13.2t
- ・ 2022年度：全店舗 プラスチック削減率 70%以上 年間プラスチック廃棄削減量約 55t

(2019 年度比較見込)

### <3. 客室無償提供プラスチックペットボトルを全店舗廃止>

2021 年度、東急 REI ホテルのブランド施策として、客室で無償提供していたプラスチックペットボトルウォーターを廃止し、ウォーターサーバーへの切り替えを逐次実施いたしました。

2022 年度は東急ホテル、エクセルホテル東急でも、客室で無償提供しているプラスチックペットボトルを廃止し、別の素材やウォーターサーバーなどへの切り替えを行います。

- ・ 2021 年度：東急 REI ホテル プラスチックペットボトル約 140 万本の廃棄削減、廃棄削減量約 42t
- ・ 2022 年度：全店舗 プラスチックペットボトル約 320 万本の廃棄削減、廃棄削減量約 96t

(2019 年度比較見込)

### <4. テイクアウト商品カトラリーをエコ素材へ>

テイクアウト商品を提供する際にお渡ししているプラスチック製カトラリー（スプーン、フォーク、ナイフ）をエコ素材のものへ変更いたします。また、レストランや宴会場で使用しているマドラーやストローもエコ素材のものへ逐次変更いたします。(2022 年度中)

- ・ 2022 年度：全店舗 スプーン、フォーク、ナイフ、マドラー、ストローのプラスチック廃棄量削減約 427.5kg(2021 年度使用量比較)

※1 東急ホテルズ「サステナブル方針」については別添資料参照。

※2 横浜ベイホテル東急、横浜東急 REI ホテルで導入を開始し（ブラシ部分はナイロン製）、以降 6 月より逐次導入（ブラシ部分はバイオマスナイロン 100%植物由来）。東急ホテルズが運営するパートナーホテルと一部の東急ホテルを除く全店舗に導入予定。

※3 海水中でも生分解する素材として「OK Biodegradable MARINE」認証を取得。

詳細はカネカにお問い合わせください。

#### 【東急ホテルズ 概要】

会社名：株式会社東急ホテルズ

所在地：東京都渋谷区道玄坂 1-10-7 五島育英会ビル 3 階

代表者：代表取締役社長 村井 淳

設 立：2001 年 1 月 9 日

東急ホテル、エクセルホテル東急、東急 REI ホテル、およびパートナーホテルを含め全国に 45 店舗展開。

公式ウェブサイト：<https://www.tokyuhotels.co.jp>

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

東急ホテルズ セールス&マーケティング部 高田

電話：03-3477-6566 / メールアドレス：[s.takada@tokyuhotels.co.jp](mailto:s.takada@tokyuhotels.co.jp)

## 東急ホテルズ サステナブル方針

私たちは、サステナブル方針として“地球にやさしいホテル・まちにやさしいホテル・ひとにやさしいホテル”という3つのサステナビリティ（目指す姿）と6つのサステナブル重要テーマ（社会課題の中から重点的に取り組んでいくテーマ）を定め、SDGs（持続可能な開発目標）の観点を深く認識しながら、ホテル事業を通じて「持続可能な社会」の実現に貢献してまいります。

### 3つのサステナビリティ（目指す姿）

地球にやさしいホテル



まちにやさしいホテル



ひとにやさしいホテル



地球環境に負荷の少ないホテルを目指して、グリーンコイン活動や水素エネルギーを活用したホテルの運営、食品廃棄物の削減やリサイクルなどで脱炭素・循環型社会の実現に貢献します。

地域に根ざした愛されるホテルを目指して、地域のお祭りや行事に積極的に参加したり、災害時の帰宅困難者受け入れや営業の早期再開などを通じて地域の発展に貢献します。

“居心地のいいホスピタリティ”の提供を目指して、ユニバーサルルームやベジタリアンメニューなどを充実させるとともに、働きやすい職場づくりや人材育成を通じてホテルの財産である“人”づくりを進めます。

### 6つのサステナブル重要テーマ

脱炭素・循環型社会	4 気候変動に具体的な対策を	5 ジェンダー平等を促進する	6 清潔な水とトイレを世界中に	7 再生可能エネルギー	9 産業とインフラの基盤を強靱化する	12 持続可能な消費と生産	13 気候変動に具体的な対策を	15 陸の豊かさを保ち増進する	17 パートナーシップを世界に広げる	まちづくり	11 持続可能な都市とコミュニティ	17 パートナーシップを世界に広げる	
安全・安心				8 持続可能な成長を促進する	9 産業とインフラの基盤を強靱化する	11 持続可能な都市とコミュニティ				居心地	3 健全な生活を営む	4 質の高い教育をみんなに	9 産業とインフラの基盤を強靱化する
ひとづくり			3 健全な生活を営む	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を促進する	8 持続可能な成長を促進する				企業統治・コンプライアンス	9 産業とインフラの基盤を強靱化する	16 公正な裁判と法の支配	